李東建RI会長と

Governor's Monthly Letter

ガバナー月信

2008－09年度　国際ロータリー第2770地区

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂1－2－1－116
エイペックスタワー東館1階
ＴＥＬ：048・827・0022
ＦＡＸ：048・827・0011
E-mail：ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp

夢をかたちに

2008.7 Vol.1

Governor Message　2008－09年度RIテーマに挑戦しよう

ガバナー　岩渕　均

2008－09年度の李東建RI会長はRIテーマを「夢をかたちに（Make Dreams Real）」と発表されました。また、「世界には避けられるはずの原因で命を落とす5歳未満の子供が毎日3万人もいます。子供の死亡率の低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの主要目標にしてください。」と述べられました。

更に、次年度の強調事項は、過去数年継続している「水問題、保健と飢餓救済、識字率の向上」とされました。世界で11億人もの人々が安全で清潔な飲料水が得られない、26億人が基本的な衛生設備を備えていない、8億人が読み書きできない（内64%が女性）ということです。

いずれも国際奉仕分野の人道的プロジェクトに該当します。「どうしたらできるか、何ができるか」と前向きに挑戦するようお願い致します。

次に公共イメージの向上ですが、今年度は「広報元年」と位置付けて、広報にチャレンジしてください。ロータリーでは長い間、「人知れず奉仕することこそ最高の奉仕である」とされてきました。しかし時代は変わり、明確なコミュニケーションを図ることが必要不可欠であるとみなされるようになりました。

当地区では昨年度より広報部門を設けてロータリー活動の広報を支援しております。実際に昨年度の場合、広報に熱心なクラブの活動はしばしば新聞に掲載されています。地区としては、広報部門セミナーなどにより広報のノウハウを皆様のクラブにお伝えしたいと思います。

「熱意あるロータリアン、誇り高きロータリアン、あたなが船の操縦者」

これからの1年間が実りあるものになるようロータリー活動に邁進して参りたいと思いますので、皆様のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

夢をかたちに

2008－09年度　李 RI 会長

ロータリーの奉仕の最たる特質は、一貫して、やるべきことは成し遂げるというロータリアンの固い志に表れています。私たちは日々、何千、何万という地域社会の中で、周囲を見回し、どこで、どのような形で人々を助けるのがベストかに思いを巡らせています。

私たちが行う支援活動はさまざまな状況に対応するものであり、その方法もまた多種多様です。クラブのレベルでは、学校に本を寄贈したり、身体障害者の世話をしたり、職業プログラムでボランティアをするなどの活動があります。クラブ同士が協力し合えば、単一クラブでは実現できないようなプロジェクトも可能になります。

さらには、ロータリー財団の支援の下に、世界中の全クラブが一体となったとき、最も遠大かつ重要な目標である「世界からのポリオの撲滅」に渾身の力で取り組むことさえ可能になりました。

奉仕プロジェクトを選ぶにあたって、私たちは最大の成果が期待でき、後々まで恩恵が残されるものを実施するよう最善を尽くします。しかし、素晴らしい世界を後世に残すためには、まず、最も若い世代に焦点を当てなければなりません。ですから、2008－09年度、私は世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです。

健康を享受する機会は、すべての子供に与えられて当然のものです。しかしながら、毎日、避けられるはずの原因で命を落とす５歳未満の子供の数が３万人を超えているのが現状です。この数字を初めて知ったとき、私は、そんな馬鹿な、何かの間違いに違いないと思ったものです。しかし、その数字に誤りはありませんでした。悲しいかな、世界では毎日のように、肺炎やはしか、マラリアといった治療可能な病気で死んでいく子供たちが後を絶たないのです。最も基本的な資源であるきれいな水が手に入らないために死んでいく人々も一日に何千人といます。栄養失調や貧困も、ほかの要因と絡み合って、多くの人々の命を奪う主な原因となっています。

今後１年間の私の希望は、子供の死亡率の低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの主要目標にしていただくことです。

この思いから、私は2008－09年度の RI テーマを「夢をかたちに」としました。食糧と水、保健と就学、充実した人生を送り、寿命をまっとうすること……、これは（今現在）多くの子供たちにとって見果てぬ夢に過ぎません。2008－09年度、このような子供たちとその家族のために、どうか「夢をかたちに」してくださるようお願いいたします。そして、幸せと健康に恵まれた平和な世界を築くというロータリーの夢に向かって、私とともに歩み、活動してください。

子供の死亡のほとんどは開発途上国で起きているため、ここに私たちは力を注がなければなりません。一方、それぞれのロータリークラブも地元地域の子供たちの安全と健康に寄与することで、責任を果たすことができます。最も豊かな国においてさえ、医療サービスを受けることのできない子供たちがいます。火災警報器、自転車用ヘルメット、子供用安全シートといった、ごく単純な器具がないために、毎日、子供が死んでいるのです。そして、世界のあらゆる場所で、子供たちはいまだポリオの脅威にさらされており、私たちが約束どおりポリオのない世界を築くまで、その脅威から免れることはありません。

私も人の親であればこそ、わが子や孫たちの存在がいかに大切なものであるかが理解できます。私たちは子供をかわいがり、育て、全力をもって彼らの身を守ろうとします。ロータリアンである私たちは、さらに、地元地域のみならず、世界中の子供たちをかわいがり、育て、守り抜く責任があると私は信じております。

ここ数年の間、RI会長は、同じ奉仕の強調事項を引き継いで掲げ、毎年、保健と飢餓追放、水、識字率向上を主眼とするプロジェクトに力を注いできました。この決定にはしかるべき理由があります。これらの強調事項は、ロータリーのリソースを最大限に生かして、目に見える進歩が期待できる分野だからです。また、莫大なニーズをはらむこれらの分野でロータリアンが発揮できる力も十分にあります。

この3つの強調事項を、私もまた引き継いでいく所存です。その中で、私がロータリー家族全員にお願い申し上げるのは、今ロータリー年度、子供たちの生活をより良くするプロジェクトに焦点を当てるよう特別に努力していただくことです。目標を達成するにあたり、3つの強調事項のそれぞれの分野は、相互に密接につながっています。水系感染の疾病で死亡する子供の数は1日あたり6,000人です。安全な水があれば、この数字を直ちに、しかも劇的に減らすことができるのです。栄養が十分であれば、子供は健全な発育を遂げ、病気への抵抗力も増します。そして、読み書きの能力を備えた子供は、将来、自らが家庭を築くようになったとき、豊かな環境の中で健全な育児を営むことができる確率が高まるでしょう。

ロータリーは、まさに地球規模のボランティアたちのネットワークです。ですから、世界中のクラブが協力し合い、私たちがもてる技能と資材のすべてを結集させるなら、絶妙なタイミングで、ここぞという場所に、これぞという援助を提供することができるのです。私たちが一丸となったとき、子供の死亡率を低下させるという果敢な目標さえ取り組みが可能になります。これが類いまれな私たちの組織の資質です。私たちがあらん限りのリソースを生かし、各クラブとロータリー財団のリソースをも駆使するなら、真の意味で変化をもたらし、世界の子供たちのために「夢をかたちに」することができるでしょう。

李　東建
2008－09年度国際ロータリー会長

資料：子供の死亡率等に関する基礎データ

	2006年 5歳未満の子供の死亡率（出生1000人当り）	人口（億人）	一人当りGNI（US$）	参考 1990年 5歳未満の子供の死亡率（出生1000人当り）
サハラ以南のアフリカ	160	7.5	851	187
中東と北アフリカ	46	3.8	2,104	79
南アジア	83	15.4	777	123
東アジアと太平洋諸国	29	19.7	2,371	55
ラテンアメリカ	27	5.6	4,847	55
CEE / CIS	27	4.1	4,264	53
先進国（内日本）	6 (4)	9.7 (1.28)	37,217 (38,980)	10 (6)
全世界	72	65.8	7,406	93

ユニセフ「世界子供白書」より

輝かしい年度を期待します

直前ガバナー
中村　靖治
国際ロータリー第2770地区

李 東建 RI 会長の提唱する「MAKE DREAMS REAL」（夢をかたちに）のもと、2008～09年、岩渕ガバナー年度のスタートです。熱意あるロータリアン、誇り高きロータリアン、そして、あなたが船の操縦者という地区テーマを掲げられた、岩渕ガバナーの力強い実行力に地区内全ロータリアンが心から期待しています。また、第2770地区のリーディングクラブである浦和クラブより待望されて就任された岩渕ガバナーに於かれましては、前年度より継続されるクラブリーダーシッププランの周知徹底、より具体的な奉仕プロジェクト事業の実践活動等、多くのプログラムが期待されています。私と、岩渕ガバナーはこの数年間、地区活動を共に邁進してきた仲間でありますが地区のリーダーとしての資質を充分に備えられた素晴らしいロータリアンであります。心から応援をさせて頂きたいと思います。そして今、「ロータリーは分かちあいの心をもって、より実践的な行動へ」とシフトしています。世界は、天災、貧困など、諸問題が山積していますが、今年度強調事項である、水保全、保健および飢餓救済、識字率向上を考えてみても、私達ロータリアンにとって、今、目の前にある悲しみや、苦しみに対して、どのように手を差し伸べることが出来るかが社会から問われています。「私達ロータリアンは、より良い世界を夢見るだけでは十分ではないことを知っています。より良い世界は、慎重な計画、誠実な協力、ひたむきな努力によってのみ実現するのです。私達ロータリアンは実現をただ待ち望むだけではありません。共に実践していきましょう」（ウイリアム・ボイド）

岩渕ガバナーの信念と実行力は必ずや我が2770地区を更なる高いレベルへと導いて頂けるものと確信します。１年間、健康に留意され、ご活躍されることをご祈念いたします。

「上善は水のごとし」

研修リーダー
関口　博正

「ロータリーをおやりなさい」　この言葉は大宮ロータリークラブ山口パストガバナー追悼例会で、田村会長が、会長に就任するにあたって、山口 PG にご挨拶に伺った時に云われた言葉として紹介されました。山口 PG らしい、簡潔にして奥深いもので大変心に残りました。この文の頭に「あなたの」が付いていたか聞きもらしました。これにつれて思い出しますのが半田 PG の、「ロータリー10人10色」であります。この二つの言葉は表現は全く異なりますが、云わんとしていることは同じであります。人は見た目から、考え方、感じ方、一人として同じ人はいません。ロータリーをやるには、自分の意見を押し通して自己中心的になることでなく、人と違うからこそ、周りの意見に耳を傾け、自分の考えと異っていても、人の意見を尊重するということで、これがロータリーで云うところの自利と他利の調和です。

「上善は水のごとし」（酒の銘柄ではない）と云う老子の言葉があります。最上に「いい」ということは水のようなもので、どんなものにも逆わず柔軟であり謙虚である。そして色々なものに恩恵を与え、この自然の中で水なしで生きているものは一つもない。世の人は一つでも高い地位を欲しがるが、水は低い所、低い所へと流れて行き、次々と支流をのみ込み、最後は海に流れて偉大な存在となる、という意味だそうです。「上善」は無理にしても「次善」になれるよう努力して、夢が一つでも形になるよう、地区チームの皆さんと一緒に岩渕ガバナーを支えていきたいと思います。

「夢を形に」
「夢」のある人には「希望」がある。
「希望」のある人には「目標」がある。
「目標」のある人には「計画」がある。
「計画」のある人には「行動」がある。
「行動」のある人には「結果」がある。
「結果」のある人には「反省」がある。
「反省」のある人には「進歩」がある。
「進歩」のある人には「夢」がある。
（板橋敏雄元 RI 理事人生訓）

中村ガバナー、１年間お疲れ様でした。

2008ー09年度ガバナー
岩渕　均
国際ロータリー第2770地区

中村ガバナー１年間お疲れ様でした。2007ー08年度、第2770地区ガバナーとしてクラブをそして地区をリードしてくださいましたことに、心から敬意を表し感謝申し上げます。

中村年度にはいくつかの新しいできごとがありました。先ず CLP の本格導入です。飯野年度は準備年度でありましたが、中村年度から本格導入が始まりました。中村ガバナーの精力的な説明活動により、ほぼ全クラブが CLP を採用することになりました。一部のクラブで委員会構成を従来通りに維持しているクラブもありますが、クラブ運営方針の継続性・一貫性、会員全員参加の計画策定およびその実行、会員の研修など CLP の目指す精神については全てのクラブに浸透したことと思います。

日韓インターアクトの20周年を祝う記念式典を済州島で開催することになりましたが、当初の200人（日本100人、韓国100人）予定の出席者が、最終的には380人（日本200人、韓国180人）となりました。高校生の交換を通じて日本と韓国の友好を深めてきましたが、それを両国のロータリアンが祝えることは大変うれしいことです。

そのほか、「地区の歩み20年記念誌」、「ガバナー事務所固定化」、「クラブの合併」等々、難しい課題を乗り越えてこられたのは、中村ガバナーのお力によるところが大きいと思います。

本年度は直前ガバナーとして、また、管理運営部門担当諮問委員としてご指導、ご鞭撻いただけますようお願い申し上げます。１年間お疲れ様でした、そして有難うございました。

Make Dreams Real（夢をかたちに）および「子どもの死亡率を低下させよう」について

ガバナー　岩渕　均

李 RI 会長は2008－09年度のテーマを「夢をかたちに」と発表しました。と同時に、「世界では毎日３万人の子どもたちが死んでいる。ロータリアンは力を合わせて、この死亡率を低下させよう」と呼びかけました。この課題は RI 会長賞の必須事項にもなっています。

皆様はこの課題を聞いた時どのように感じましたか？多くの方が「日本では該当しないことなので、具体的に何をすればよいのだろう」と考えたものと推測します。実際、サンディエゴにおける国際協議会のグループ討論の際もこの課題が提示された時、とまどいの声がきかれました。「日本では自分の問題として捉えられないのではないか」、「我々が取り組むにはあまりに大きすぎる課題ではないか」、「該当する国の政府が取り組む課題ではないか」、等々です。

どの意見も正しいと思います。確かに、日本では乳幼児の死亡率は低く、ましてや衛生状態や食糧事情が悪いために死亡することは皆無に近いでしょう。死亡率の高い各国政府が取り組むべき大きな課題であることも間違いありません。しかし、だからといって日本のロータリアンは何もしなくてよい、ということにはならないと思います。

李会長は協議会の最終日で次のように述べています。

「私たちは全てを解決できるわけではないが、できることをしなければならない。たとえたった一人の命であっても、救わないより救ったほうがはるかに良い。その救われた一つひとつの命の重みがいかほどのものか、私たちは知っている。

この仕事がとてつもなく巨大であることは事実だが、根底にある問題が理解できれば、どこからどのように着手すべきかが見えてくる。先ず子供の死亡率の根源に立ち返り、最大の成果が期待できるところから始める。見知らぬ子供たちの命を故郷の子供たちの命と同等に尊ぶのだ。子供の命を救うという目標をしっかりと見据え続けるのだ。「夢をかたちに」するために、私たちは、身体と心と頭とを使うのだ。」

当地区でも WCS 事業を実施しているクラブがいくつかあります。水問題、保健及び飢餓救済、識字率の向上に関するプロジェクトを手がけているクラブがあります。そういった事例を手本にして、全クラブが「子どもの死亡率低下」に取り組みましょう。当然、複数のクラブが合同で実施することも必要になるでしょう。また、資金面でみれば DDF を WCS 事業に充てることも必要でしょう。また、地区は WCS 委員会を中心に、具体的なプロジェクトとパートナーを発掘し、クラブに的確な情報を提供できるよう努力します。地区自体がプロジェクトの窓口になることも前向きに検討します。

私たちのできることには限界がありますが、身体と心と頭を使い、できることで効果のあることをやりましょう。「子どもたちの夢をかたちに、私たちの夢をかたちに」。皆様のご協力をお願い申し上げます。

熱意あるロータリアン、
誇り高きロータリアン、
あなたが船の操縦者

ガバナー補佐就任にあたって

第１グループ　ガバナー補佐

久保　和夫
（浦和ダイヤモンドＲＣ）

本年度岩渕均ガバナーより第１グループのガバナー補佐を拝命いたしました、浦和ダイヤモンドRCの久保和夫です。第１グループの会長、幹事そして会員の皆様のご支援をいただきながら１年間務めさせていただきます。

李東建RI会長は今年度のテーマとして“Make Dreams Real”「夢をかたちに」を掲げられました。世界中で毎日避けられるはずの原因で５才未満の子供が３万人も亡くなっている。この子供たちの死亡率を低下させるという大きな夢を提案されました。現在の日本では自分の身の回りにおいて、子供の死亡率を実感することはまずないと思います。やはり世界の開発途上国の問題かもしれません。この目標を達成する為に以前よりの強調事項である、水問題、保健および飢餓救済、識字率向上をさらに推進してまいりましょう。このプロジェクトを成功させることがRI会長賞の必須条件のひとつになっています。

また前年度からスタートしましたCLPも今年度は２年目を迎えます。中村直前ガバナーが言われましたように前年度蒔かれた種を育てる年となります。効率のよい機能的な組織で、会員全員が参加し、継続性も考えたクラブ作りを進めてまいりましょう。

岩渕ガバナーのもと多くの夢をかたちにできますよう努力いたしますのでよろしくお願いいたします。

第２グループ　ガバナー補佐

井上　正巳
（さいたま中央ＲＣ）

「夢をかたちに（Make Dreams Real）」2008ー09年度　李　東建RI会長のテーマのもとに行動が開始されました。「世界では避けられるはずの原因で命を落とす子供が毎日３万人いるといわれます。子供の死亡率低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの主要目標として頂く事です」と述べておられます。そしてその原因はポリオであり、水の問題であり、保健及び飢餓救済、識字率向上に関係するといわれております。

岩渕ガバナーはRI会長の方針によって提唱された諸問題に対し、

熱意あるロータリアン、誇り高きロータリアン、あなたが船の操縦者

を地区テーマに魅力ある第2770地区を創造すべく、12グループを率いて船長としての重大決意のもとに大海原に出航致しました。今まさに政治が混迷を深め、経済が低迷する中で、厳しい舵取りが要求されます。この時こそ12名のガバナー補佐が一体となって岩渕ガバナーを支える時です。

ロータリーは曲がり角にあるといわれます。CLPの導入により時代の変革に合わせた活動に改革がなされましたが、ロータリーの精神そのものは全く変わっておらず、４大奉仕を中心とする活動はいささかも揺るぎなく、しっかりと大地に根を生やしております。厳しい経済環境の中で活動は大変かと思われますが、共に感動的に有意義な一年を過ごしたいと思います。宜しくご指導、ご協力をお願い致します。

第 3 グループ ガバナー補佐

恵川 一成
（大宮シティRC）

李　東建 RI 会長は、Make Dreams Real 『夢をかたちに』をテーマにかかげました。「世界には避けられるはずの原因で命を落とす 5 歳未満の子供が毎日 3 万人もいる」と述べられました。現在われわれの生活の中では水問題・飢餓救済・識字率向上と想像もつかないことばかりです。例えばカンボジアでは、ボーフラのわいた雨水を飲料としている地域もたくさんあります。なぜならボーフラが飲めるから人間も飲めるという考えからです。

大きなテーマですがクラブ・グループ・地区が一体となって出来る事から取り組んでみたいと思います。

1905年たった 4 人で始められたロータリー活動は、民族・宗教・文化の垣根を越えて国際社会に貢献をしている素晴らしい団体であります。しかしこのところ経済の停滞、会員の減少傾向が強く増強が追いつきません。このような時こそ、会員は相互の理解と信頼を持ちロータリー活動が地域社会で理解されるよう、今一度われわれに何が出来、何をすべきかを考える時だと思います。

クラブ会員の皆様とコミュニケーションを図り、RI・地区の情報を正確かつ迅速にクラブ会員に伝達することが、ガバナー補佐の任務と考えております。

一年間先輩諸氏のご指導・ご鞭撻を賜り、有意義なまた記憶に残る岩渕年度でありますよう会員皆様のご協力をお願いいたします。

第 4 グループ ガバナー補佐

荒井 伸夫
（大宮西RC）

本年度、第 4 グループのガバナー補佐を仰せつかりました。これから 1 年間、グループの会長、幹事さんはもとより会員皆様のご協力を得て、楽しく活力あるロータリー活動を目指していきたいと思います。

RI 李東建会長は、「Make Dreams Real 夢をかたちに」を RI テーマとして掲げ、「子供の死亡率を低下させよう」と熱く訴えかけています。とても大きく重い問いかけですが、私たちは個々のクラブで或いはグループで一歩ずつでも人道的プログラムに取組んでいき、世界の子供たちのために夢を実現させていきたいと思っています。この意味では、前年から始まったペットボトルのキャップ収集活動も第 4 グループとして継続して行なう予定です。ロータリアンのみならず一般の人々の協力を得て、ワクチンの供与によるポリオ撲滅を支援し、CO_2削減による地球環境への貢献を進めることは李会長の方針に沿うものでしょう。

ゆるやかに持続的な成長を続けてきた日本経済も、昨年末より景気の踊り場を迎えました。会員数の減少に直面しているロータリークラブも更に厳しい状況になりました。このような時こそ、ロータリアン 1 人 1 人が自らの職業において「四つのテスト」を実践し、ロータリアンとしての誇りを堅持しながら、地域社会や世界平和に奉仕の眼を向けていくことが求められます。会員の皆様が手を携えて、会員増強を図りクラブの会員基盤を維持強化して「効果的なクラブ」にチャレンジされるよう、一緒に活動したいと思います。

第 5 グループ ガバナー補佐

村山 勝正（桶川ＲＣ）

この度の大役に身の引締る思いであります。

今更ながら過去の不勉強を悔いておりますが、お受けした以上、皆様に少しでも御迷惑をお掛けしない様に、精一杯頑張る所存です。

さて、“夢をかたちに”のテーマのもと岩渕ガバナーよりこの一年間の活動目標とその展開について、合同会議や補佐会議でのお話しをお聞きし、私なりに理解したもの、又ガバナーのお考えをその都度会長・幹事の皆さんに忠実にお伝えする事で、この一年間補佐として活動して参りたいと考えております。

過日のペッツの時に、水問題や識字率向上については、すでに単独で遂行しているクラブもありますし、新たに計画しているクラブもある様ですので、大変心強く感じ、これからの会長・幹事会の中でも種々話し合って行きたいと考えております。

又、グループ内の最大行事であります“IM”ですが、テーマと目標に合った人選を会長・幹事の皆さんと相談し、講演会形式で行いたいと考えております。講師によっては一般開放でも良いのではないかと考えております。

一方では、グループ内の融和と懇親を図る意味で慣例となっておりますゴルフコンペも開催したいとも考えております。

いずれにしても、この大役を無事に果たさせて頂くことも、グループ内のロータリー活動の有効な展開も、会長・幹事を始めとするメンバーの皆様のご理解とご協力がなくては成し得ません。どうぞ宜敷く御指導、御鞭撻をお願いいたします。

第 6 グループ ガバナー補佐

島村 廣幸（春日部イブニングＲＣ）

李東建 RI 会長は、2008～09年度のテーマ**「夢をかたちに」**とし、

奉仕プロジェクト第 1 目標に**「世界の子供の死亡率を低下させよう」**

強調事項は、**①水問題、②保健と飢餓救済、③識字率の向上**、

更にＲ財団の最優先事項に、**「ポリオ撲滅＝ポリオ募金に協力」**を掲げました。

これらの、人道プロジェクトに重点をおかれた RI の方針に基づき、第2770地区岩渕ガバナーは、地区チーム・会長エレクト研修セミナー、地区協議会を実施して活動方針をわかりやすく、明確に打ち出されました。

岩渕ガバナーは、RI テーマ実行の取組みのために、指揮官先頭・率先遂行で、

> 熱意あるロータリアン、 誇り高きロータリアン、 **あなたが船の操縦者**

の地区標語の基に、「明確な目標、堅実な行動」を2770地区会員に呼びかけました。

又、岩渕ガバナーの「夢をかたちに」については、次の 3 つを掲げました。

①Ｒ財団学友中心の新クラブ結成 ②ロータリーの森 ③公共イメージの向上

岩渕ガバナーは、CLP 本格的導入の 2 年目に当たり、導入のステップを 7 項目提示しました。第 6 グループには、特別なプログラム試行中の春日部 RC や、クラブの独自性もあります。

岩渕ガバナーは、**『効果的なクラブ』**にすることが狙いであり、奉仕と親睦のニーズを満たす委員会を設置する裁量権はクラブにあると、述べられております。

浅学非才ではございますが、ガバナー補佐として岩渕ガバナーの方針を、グループ会員の皆様に忠実に伝えて、「夢をかたちに」一歩でも近づけたいと念じています。

第 6 グループの皆様の、ご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げ、挨拶と致します。

第７グループ　ガバナー補佐

大塚　辰男（幸手ＲＣ）

2008年～09年度　岩渕　均　ガバナー年度に、第７グループガバナー補佐を拝命致しました、幸手 RC の大塚でございます。
第2770地区の皆様、そして第７グループの皆様、宜しくお願い申し上げます。

私は、もとより浅学非才の身で第７グループの皆様のお役に立てるかどうか、非常に不安でいっぱいなのですが、引き受けた以上は自分なりに一生懸命務めさせて頂きます。

これからは、岩渕ガバナーの方針に従って協力をしていくのが、第１の使命であると考えています。それには、自分に与えられた守備範囲は第７グループにあると思っております。特に、会長・幹事さんとは出来るだけ話合いの場を多く持って、更なるコミュニケーションを高めて行きたいと思います。

今年は、CLP の継続と会員増強に力を注ぎたいと思います。そして、それぞれのクラブが楽しい例会であり、効果的且つ行動的な運営が成される様に一緒に考え、努力をして行きたいと思います。そして、RI 会長のテーマ（夢をかたちに）子供の死亡率の低下や水問題、飢餓救済、識字率の向上等にも、協力をして行こうと考えておりますので、御協力の程宜しくお願い申し上げます。

第８グループ　ガバナー補佐

稲垣　勝三（越谷北ＲＣ）

地区とは RC がロータリーの綱領を推進するのを助ける存在でガバナー補佐はガバナーの指導のもと担当クラブすなわち５グループ内５クラブを支援し常に連絡をとり、パイプ役として活動する事と承知しています。
RI 李東建会長は RI のテーマに「Make Dreams Real」を掲げ「今後一年間、私の希望は子供の死亡率の低下をクラブと地区の奉仕プロジェクトの主要目標にしていただく事です」と呼びかけられました。このテーマはクラブ単位での実施は大変むずかしく、その為、地区、グループ挙げての取組みが必要かと思います。当グループ内の或るクラブでは以前より書き損じ葉書の回収による寺子屋運動を展開し現在は越谷ユネスコ協会を設立し、更なる発展を企っておりますがグループ内の要望と賛同があれば、グループ挙げての活動のパイプ役を務めてゆきます。

R 財団の最優先課題のポリオ撲滅の寄付金（１人30ドル×３年間）の完遂の為の理解を得ます。
CLP の導入も２年目となり、中・長期計画を中心に会員増強、奉仕プロジェクト、クラブ管理、広報等、会長・幹事会において情報交換をおこない、意志の疎通を企りより良きコミュニケーション作りを目指し、協力し合い、計画の遂行に努めます。etc
そして当年度が楽しい、思い出深きロータリーライフの１ページとなれば幸いです。
皆様のご健勝にてのご活躍を祈念申し上げます。

第 9 グループ ガバナー補佐

山口 優（草加21ＲＣ）

岩渕　均ガバナー年度を清新な気持ちで迎えました。

高邁な趣旨に共鳴し、馳せ参じたもの121万人強、それは国境、民族、言語、宗教、習慣を越えた。幾多の困難もそれぞれの時代の指導者と会員の英知で乗り越え、103年の歴史を重ねた。その原点がポール・ハリスとたった 3 人の仲間であることに、後に続く一人として私は先づ畏敬を以って身を正そうと思います。

本年度 RI 李東建会長が簡潔に謳いあげたテーマ「夢をかたちに」、そして強調事項の1. 水問題　2. 保健と飢餓救済　3. 識字率の向上　は次の時代を支える「子供たち」に何よりも大切なこととして訴えております。私達はそれらを忖度し、活動の指針として参りましょう。

事実それは 5 月 2 日ミャンマーを襲ったサイクロン、5 月12日の中国四川大地震、正に生き地獄の凄惨さ、神に縋るような思いの人々に思いを馳せ、私達に、人間とは生きるとは何、と改めて問い掛けております。全世界60数億人の中の121万人のロータリアンならば、5 千数百人に一人、これはもう選ばれし者の集団です。弱き者に手を差しのべる務めのある集団です。ロータリアン一人一人が切磋し、日々の行動を通してそれぞれの使命を果たして行きましょう。

第 9 グループは 9 クラブ。その歴史も会員もその活動実績もクラブカラーも色々。それを魅力に富んだ意気軒昂な会長幹事さんの絶妙なコンビネーションと、更に 2 百数十名の会員が熱い心で共々活動して参りましょう。

私自身は頭をぶっつけながら、悩みながら、立ち止まりながらこの重責を果す為に誠実に努めて参ります。この年度が実り多いものとなりますよう皆様の御指導御支援を切にお願いし、ご挨拶と致します。

第10グループ ガバナー補佐

染谷 良雄（吉川ＲＣ）

2008ー09年度、第10グループガバナー補佐を務めさせて頂く、吉川 RC 染谷ともうします。第10グループ会員の皆様よろしくお願い申し上げます。

さて、今年度岩渕均ガバナーは全クラブが「子どもの死亡率低下」に取り組みましょう。当然、複数のクラブが合同で実施することも必要になるでしょう。私たちのできることには限界がありますが、身体と心と頭を使い、できることで効果のあることをやりましょうと発信されました。そして全会員に「熱意あるロータリアン、誇り高きロータリアン、あなたが船の操縦者」と提示されました。

さて、RI 会長李東建氏は、RI テーマとして掲げられました。

Make Dreams Real（夢をかたちに）

2008ー09年度、世界中のロータリアンの皆さんに地域社会の最も大切な資源である「子供たち」に光を当てていただきたいのです。毎日、避けられるはずの原因で命を落とす 5 歳未満の子供の数が 3 万人を超えているのが現状です。

従いまして「子どもの死亡率を低下させよう」と発信されました。

今年度第10グループでは吉川 RC と吉川 EVRC が合併により 5 クラブになりグループ会員数が125名前後と少ないですが、各クラブと共に、ロータリーの広報を兼ねた、より高いレベルの奉仕活動企画させていただきます。何卒会員皆様方のご厚情をいただき、ご指導、ご協力の程をお願い申し上げます。

第11グループ ガバナー補佐

中里 公造
（川口モーニングRC）

ガバナー補佐の大きな役割・責務として、「担当するクラブが効果的なクラブとなるようガバナーを補佐すること」となっています。

岩渕ガバナーの活動方針や地区の運営方針等を担当するクラブに対して的確に伝えるとともに、クラブの現況をガバナーに報告し、ガバナーのご指導の下、クラブの更なる活性化のためにお手伝いをすることが大きな役割と考えています。

RI会長のテーマが「夢をかたちに」とあるように、11グループ所属の7クラブには多くの目標「夢を」掲げていただき、それを実行「かたちに」していただきたいと思います。

年度前に開催した会長幹事会で確認した下記の項目を、全クラブが達成しましょう。

「夢をかたちに」するためには会長さんの「リーダーシップ」と「やる気」が最も重要です。そのためにガバナー補佐として微力ながら働かせていただく所存です。

1．会員増強、純増1名以上。
2．RI会長賞に挑戦。
3．財団・米山増進目標額の100パーセント達成。
4．地区補助金の活用・WCS活動への取り組み。

第12グループ ガバナー補佐

海老原 邦延
（川口西RC）

ロータリー誕生100余年が過ぎ、経済の低迷が続く中で会員の減少傾向に歯止めが掛からない状態に成っておる時期、08～09年のガバナー補佐を拝命致しました。

ロータリー大学は終身就学と心得ており、少しでも良いから、余力を作り、それを世の中の為に差し出す…」それはお金だけで無く、時間も労力も、であって、特に発展途上国の人々の中には学校にも行けず、文字も読めない貧しい人が沢山おり、国内にあっても、生活は一応豊かに見えても心に欠陥の有る人が増加している現代社会で、お互いが共生出来るような社会を作る必要が求められていると思います。岩渕ガバナーの元、第12グループの為に、ガバナーと会員のパイプ役となり、皆んなで「ロータリーって素晴らしい……、楽しい……、入って居て良かった……、こんな経験まで出来た……」と言える様なクラブ造りを目指して行きたいと思います。その中から自分の余生を世の中の為に役立つものに使って行きたいと思います。老齢化が益々進む中で、目出度く定年を迎えた方々が、これからは「世の中の為に如何に役立つか……」、そんな事を考える人間に成りたい。

連載 第一回 ロータリー情報ニュース

ロータリーの綱領の変遷

ロータリー会員の皆さんが日常の事業活動の中で無意識に繰り返し実践しているのが「ロータリーの綱領」と「四つのテスト」です。創成期のロータリーの目的は、親睦と会員相互の仕事上の助け合い即ち相互扶助でした。ですから当時は毎月お互いにどれだけ売買をしたかを表にしていた時期もありました。その後、直ぐこれに満足しない会員が急増し改革が必要になってきました。1905年に誕生したシカゴ・クラブで、次の年に綱領の原点というべきもの（定款）が誕生しました。それは次のようなもので1906年に制定されました。

第１：本クラブの会員の事業の利益の増大
第２：通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思惟する事業の推進

これに加え1907年に

第３：「シカゴの最大の利益の推進、及び市民の誇りと忠誠とを市民の間に拡げること」が追加されました。

これを私どもが現在掲げているものと比較してみてください。全く異なったものになっていることがお分かりかと思います。言わば、利益の追求から職業を通じた奉仕理念に様変わりしております。

1906年に定められてから、国際大会が開催されるたびにいろいろな文言が採択されました。興味あるものとして、例えば1910年の第５条には「加盟ロータリー・クラブの会員個人の事業の利益を増大すること」などがありますが、早くも1912年の大会では「すべての合法的職業は尊重されるべきであるという認識を助長し、かつ各会員の職業を社会への奉仕の機会を提供するものとして品位あらしめること。」と今日の基礎になるものになっております。又、1915年サンフランシスコ大会での変更の中には、「クラブの地域社会の公共の福祉に対するクラブ会員の関心を高め、かつ、市、社会、商工業の発展のために他の人々と協力すること。」など地域奉仕活動の奨励や「偏見のない友好の精神をロータリアン同士並びにロータリー・クラブ間に推進すること。」その後、1918年の「世界中のすべての商業中心地にロータリー・クラブを結成するよう奨励、推進、監督すること。」などは将にクラブ拡大を提唱しております。その間５ヶ条であったり６ヶ条であったものが、最終的に1935年のメキシコ・シティーで開催された国際大会で本文となり、1951年アトランティックシティーで開催された国際大会で国際ロータリー定款第３条「The object of Rotary」の誕生をみるに至りました。object は目的であり、ロータリーの綱領はロータリーの目的が示されていることを認識することが大切ですので、例会において会員の皆様が「四つのテスト」同様月に一度は唱和なさることをお勧めいたします。

国際親善の第一歩として、１年間留学してみませんか！

2008～2009年度 国際ロータリー2770地区　青少年交換留学生募集

資　格　応募時点の年齢が15歳以上17歳以下の高校１・２年生で、国際ロータリー第2770地区内（埼玉県内荒川以東、鴻巣以南）に居住又は地区内の高校に在学中の日本国籍を有する者
成績が中以上で国際親善に興味のある高校生

派遣期間
2009年８月～2010年８月（派遣国により異なる）

予定留学先　カナダ、アメリカ、メキシコ、ブラジル、台湾、フィンランド、ドイツ、スイス、オーストリア、デンマーク、スウェーデン（派遣枠15名）

応募締切
2008年８月10日（日）　応募書類到着分まで

試　験
【第一次】　2008年８月17日（日）10：15～12：15
日本語筆記（一般常識・作文）
英語（筆記・リスニング）英検３級程度
【第二次】　2008年８月24日（日）13：00～17：00
日本語および英会話による面接

場　所　カルタスホール会議室
［JR 京浜東北線、北浦和駅東口下車徒歩２分
北浦和ターミナルビル３階］
（都合により変更の場合があります）

合否発表　2008年９月30日

費　用　出発前講習費・往復航空運賃・渡航手続費用・保険料・個人的費用は本人負担です。
留学先ではロータリーによるホームステイ（３～５家族）で、滞在費はロータリークラブが負担します。

問い合わせ＆申込み先
国際ロータリー第2770地区
岩渕ガバナー事務所
青少年交換委員会
〒330－0063　さいたま市浦和区高砂１－２－１－116
エイペックスタワー東館１階
TEL 048-827-0022　FAX 048-827-0011
E-mail : ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp

連 載

ロータリーの職業倫理訓逐条解説（１）

職業倫理委員長　青木　伸翁

ロータリーの奉仕哲学は1910年から1915年の間に、様々な試行錯誤の末確立されました。その中心にある概念は職業奉仕理念です。職業奉仕の原理は、1908年にシカゴクラブに入会した、経営哲学者アーサー・フレデリック・シェルドンにより体系化されましたが、この原理はシェルドンがロータリーに入会する以前から発想していたものです。

職業奉仕とは、利益を追求することと、世のため人のために行う奉仕を同時に行うことです。この考え方を追求していくと必然的にその経営は「倫理的経営」にならざるを得ないということになります。

そしてロータリーは倫理の裏打ちのある企業が継続的に安定した利益を獲得し、自由競争社会の中で必ず生き残って繁栄していくということを、原理論的にも、実践論的にも立証していくものです。

この職業奉仕理念の下に行う倫理的経営の原則を定めた訓えが1915年のサンフランシスコにおける第６回ロータリー・クラブ国際連合会大会決議

「全分野の職業人を対象とする、ロータリー倫理訓」

です。

この倫理訓は、1934年シカゴ大学教授陣による「ロータリーとは」と題する調査報告書の中において、ロータリーが行った20世紀人類文化史上最大の功績であると絶賛されたものであり、その内容は現代社会でも充分通用するものです。

倫理訓は11か条から成っており次号以降において逐条の解説をいたします。

ちなみに第１条は次のようになっています。

> 第１条　自分の職業に価値を認め、これにより自分は社会に奉仕すべき好個の機会を与えられたものと考うべきこと。

健康保持増進委員会活動方針

健康保持増進委員会 委員長　三國　　明

職業奉仕委員会の中の健康保持増進委員会もすでに数度の会合を開き、岩渕年度における活動方針の概略を決定しております。

ロータリアンやロータリーファミリーの健康増進はロータリー活動を支える基礎であるとの認識に立ち、取り組みを一層強化していく方針です。ロータリアンはみな健康こそ一番大切であると思っていても、日常の忙しさに紛れてついうっかりしてしまうのではないでしょうか。各自でいろいろ健康保持について工夫をしているとは言っても、合理的でなかったり、医学的でなかったりということがあるのではないでしょうか。

健康のことをしきりに口にする人が、友人や家族の前で平然と喫煙していたりするものです。中村年度における健康に関するアンケートの分析を参考にしてロータリアンの健康保持のために以下の活動計画を立てました。

地区大会会場での健康相談

中村年度同様実施の予定ですが、もっとコーナーを充実してやる、プライバシーにも配慮できるようにスペースを確保する。

職業奉仕月間の卓話　全クラブ対象

健康のことは最も関心のあるところなので、委員全員参加で取り組みたい。卓話の内容やそのプレゼンテーションのやり方に工夫を凝らして、ロータリアンが興味を持って聴けるようにしたい。

健康についての講演会

卓話とは別に生活習慣病についてロータリアンやロータリーファミリーそして更に地域社会の人への啓蒙活動として、ネームバリューのある人に来ていただいて講演会を催したいと考えております。

禁煙サポートプログラム

禁煙に挑戦しているロータリアンをサポートしモチベーションが途切れないような工夫をしたいと思います。クラブ全員による激励、スマイル、会長賞の創設、禁煙バッチ作成、ガバナーや奉仕部門委員長にも参加要請、地区による表彰、各クラブごとの取組みの集計、モチベーションの持続により禁煙に成功した例の集計、禁煙体験者による卓話など色々考えております。

メタボに対する取り組み

今年６月から特定検診、特定保健指導などが実施されています。会社や保険組合単位で取り組みが義務化されました。委員会はこの問題について、生活習慣病の重要課題として卓話や講演会などを通して啓発活動を展開していきます。

以上健康保持増進委員会の活動状況を概略報告させていただきました。

長・幹事の紹介記事を載せることにした。49年も経つと古い会員の名前は残っていても、どんな人だったか判らない方々ばかりである。次の年に50周年を迎えるので、歴代会長・幹事の人物を知ってもらおうと思っての企画だったが、内田幹事と志賀会報委員長の口車に乗せられて、全回私が書かされてしまった。関口ガバナーから「愛読している」旨のリップサービスを頂いたのが、励みになった。

約45回の割当なので、40回分書いておいたが、2世会員の多い浦和クラブ故、「父を書いてくれ」との要望に期待して、5回分取っておいた。ところが、陰では色々零している癖に表立っては控え目な輩が多くて要請がなかった。最後の3人位は苦労して埋めた記憶がある。この時利用したのは何年史の自己紹介記事で、本人が居なくても息子が会員だから、悪口にならない様に気をつけた。

(4) 会長挨拶では、ロータリー思想の源流となった世界史上の事件を取り上げたが、これは評判が悪かった。その後、現在の高校では世界史の授業が不人気で、履修しないで、卒業するのが通例になっていることを知って愕然とした。我々の時代には将来役に立つ科目を選ぶのが当然だったが、今では受験に有利と言う観点しか考慮しないらしい。

ロータリーと関係が深いのは、発祥の地アメリカ、ポール・パーシー・ハリスの先祖が居たイギリス、彼の母方祖父の出身地アイルランド、ハリス姓の多いスコットランド、ロータリー倫理の原点となったプロテスタントの本場ドイツとオランダ位だから、それでは45回の挨拶は保たない。当然の仕儀として、私がかつて訪れた国を次々に挙げたから、会員の中には所在地も判らない連中も居た。「ルーマニアって何処?」「ブルガリアの北です」「そのブルガリアが判らない」。それでは何処を基準に説明したらよいのか迷ってしまう。「トルコのヨーロッパ部分の北西がブルガリアで、その北方がルーマニアです」と言ったって、トルコの地図が浮かばない者には、連想出来まい。

何故私が外国の話をしたのかについて釈明したい。浦和クラブの会員は、それなりの地位にあって、社会経験の豊富なお歴々が多い。中には世間知らずのお坊ちゃまも居るが、少数である。

会長挨拶として1回10分、45回も週1度話していたら、私の頭の程度や中身が皆判ってしまう。私の商売は弁護士だから、「あいつは大したことないよ」と思われるのが最も辛いのである。だから内容の乏しいのをカモフラージュしておく必要がある。それには相手の良く知らないことを話して煙に巻くのが最適である。

＊　＊　＊

ロータリー情報として書くと、必然的に堅い話になる上、何か印刷物に準拠しないと記述し難くなるので、ロータリー関係の随筆の形にした。

ロータリーエッセイの今後の予定

(1) ポールへの興味
(2) メイフラワー号とハリス家の関係
(3) 独立戦争前後と宗教的不寛容排除
(4) ゴールドラッシュとポールの母方祖父
(5) 南北戦争と戦争絶対反対
(6) 大膨張時代とポールの青春遍歴
(7) ロータリアンへの教訓
(8) ポールがロータリーに求めたもの
(9) シカゴでの弁護士生活
(10) ポールのミドルネーム
(11) エマソンの思想とロータリー
(12) ポールの性格
(13) アメリカ史の魅力

ロータリーエッセイ

(1) ポールへの興味

浦和ロータリー・クラブ　矢作　好英

私が浦和ロータリー・クラブに入会したのは、1970年2月だから、会長に就任した2002年7月迄には実に32年以上経っているが、ロータリーに対する知識はほとんどなかった。創始者ポール・パーシー・ハリスが同業者と言うこと位しか知らなかったから、2770地区の平均よりやや下のレベルだった。

本来なら、会長をやらずに済んだ筈だったが、浦和クラブの有力会員が中年病や業績悪化の為、次々に退会してしまい、49番目の男にさせられてしまった。馬齢65才にして、初めて重職を担う羽目になった。御存知の通り浦和クラブは2770地区最古にして最大クラブで、著名人が会長を務めてきており、最大時には150名近い会員を擁していたのだが、私如き者まで狩出さねばならなくなった上、会員も瞬間的には100人の大台を割る状況になっていた。

わずか1年と言っても、私が実行しなければならない使命は何かを求める為、60の手習いを始めた。浦和クラブの事務室にあるロータリー関係の本を片端から読み漁ることが、会長エレクトとしての私の仕事になった。機会があれば御紹介するつもりだが、「ポール・パーシー・ハリスの伝記」と彼の著書を米山梅吉が訳した「ロータリーの理想と友愛」の2冊は熟読して、抜粋もした位である。その他、浦和クラブ何年史や週報綴りも読んだから、1年ですっかりロータリー通になったと自賛している。勿論それには目的があり、古いことを持ち出して新会長を抑制したがる長老達に対する対抗手段でもあった。少し例を挙げてみる。

「ポール・パーシー・ハリスの伝記」と「ロータリーの理想と友愛」

(1) 浦和クラブでは、新年度第1回例会卓話として、新旧両会長と両幹事の挨拶が行われていた。オリンピック閉会式でも、次回開催地に旗と権限が移譲されているのに、ロータリーでは最終例会で旧会長任期が終わらないのは腑に落ちない。更に第1回例会は新会長の施政方針演説にも当たる大切な時期だから、旧会長の任期満了謝辞を述べるには妥当ではない。

そこで各年度の初回と最終回の週報を調べた所、両方の場合があることが判り、私のやり方を実行しているケースもあった。つまり創立以来の金科玉条ではなかったのである。

(2) 週報題字を各年度会長が揮毫する慣例があり、不慣れなお習字に励む人も居たらしいが、私は今更毛筆の練習をする気がなかった。上手な方に代筆を頼むのも業腹なので、英文で済まそうとして、週報を調べた。書家に依頼した題字を長い間使っていたが、ある会報委員長のアイディアで、会長自筆になったらしい。既に会長職を済ませた生存会員は二月ずつ位題字を担当していたが、中にはサインペンやボールペンで金釘流を書いた人も居たから、安心して英文、しかもドイツ文字を週報トップに載せた。

(3) 週報1面下欄に続き物を載せる習慣があったので、ここに物故会

岩渕　均ガバナー　公式訪問日程表

（変更になる場合があります）

曜日	2008年７月		8月		9月		10月		11月		12月	
月					1						1	川口中央
火	1				2	岩槻東					2	大宮北東、三郷中央
水	2				3	大宮シティ	1	浦和ダイヤモンド、福川イブニング			3	草加
木	3				4	春日部西	2	鳩ヶ谷			4	草加21
金	4		1		5	三郷	3				5	
土	5		2		6		4		1		6	
日	6		3		7		5		2		7	
月	7		4		8	大宮南東	6		3	文化の日	8	
火	8		5	越谷	9	春日部、春日部イブニング	7	浦和西	4	川口西	9	松伏
水	9	吉川	6	庄和	10	蓮田	8	幸手	5	大宮東、岩槻中央	10	鴻巣水曜
木	10	杉戸中央	7	栗橋	11	上尾	9	八潮中央、八潮シティ	6		11	越谷東、戸田イブニング
金	11		8		12		10		7		12	
土	12		9		13		11		8		13	
日	13		10		14		12		9		14	
月	14	大宮西	11		15	敬老の日	13	体育の日	10		15	
火	15	鴻巣	12		16	大宮北、幸手中央	14	さいたま欅、草加イブニング	11		16	川口東
水	16	桶川	13		17	川口南	15	川口・鳩ヶ谷武南	12		17	
木	17	浦和東	14		18	川口	16	越谷南	13		18	
金	18	上尾北	15		19		17		14		19	浦和
土	19		16		20	川口モーニング	18		15	地区大会	20	
日	20		17		21		19		16	地区大会	21	
月	21	海の日	18	さいたま新都心	22		20		17		22	
火	22	八潮	19	浦和北東	23	秋分の日	21	大宮南、大宮中央	18	川口北東	23	天皇誕生日
水	23	浦和北	20	上尾西	24	川口北	22	大宮、八潮イブニング	19		24	
木	24	大宮南西	21	草加南	25	戸田西	23	浦和中	20	白岡	25	
金	25		22		26		24		21		26	
土	26		23		27		25		22		27	
日	27		24		28		26		23	勤労感謝の日	28	
月	28	浦和南	25	戸田	29		27	浦和イブニング	24	振替休日	29	
火	29	鳩ヶ谷シティ	26	越谷中	30	杉戸	28	上尾東	25	蕨	30	
水	30	春日部南	27	川口むさし野			29	三郷ウェンズデー	26	越谷北	31	
木	31	岩槻	28	草加中央			30	久喜菖蒲	27	さいたま中央、北本		
金			29				31		28			
土			30						29			
日			31						30			

文庫通信（249号）

新年度にあたりご挨拶申し上げます。

［ロータリー文庫］は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、38年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約２万余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちいたしております。

☆ **利用方法** ☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合わせも承ります。

（文庫資料をご希望の場合は）

- 発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- 絶版のものは実費（１枚20円＋送料）でコピーサービスを致します。一部 PDF で閲覧できます。
- 重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ビデオテープは有料でダビングを致します。

（貸出し）

- 視聴覚資料（スライド・フィルム）は予約制（申し込み用紙有）で貸出し致します。

（登録資料の紹介）

- 「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- 「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- 「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

（ご寄贈）

- 個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わず　ロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011　東京都港区芝公園２－６－15
黒龍芝公園ビル３Ｆ
TEL（03）3433-6456　　FAX（03）3459-7506
http : //www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後５時
休館＝土・日・祝祭日